

安全データシート

改訂日:2022年8月29日

1. 製品及び会社情報

化学品の名称  
推奨用途  
会社名  
住所  
電話番号

水銀  
試験研究用  
米山薬品工業株式会社  
大阪市中央区道修町2丁目3番11号  
(06)6231-3555(大阪・本社)  
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)  
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)  
CC0003

整理番号

2. 危険有害性の要約

GHS分類  
健康に対する有害性

急性毒性(吸入:蒸気):区分1  
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性:区分2  
皮膚感作性:区分1  
生殖毒性:区分1A  
特定標的臓器・全身毒性:区分1(呼吸器系/心血管系/腎臓/肝臓  
(単回暴露) 中枢神経系)  
特定標的臓器・全身毒性:区分1(神経系/心血管系/血液/肝臓/歯  
(反復暴露) 肉)  
水生環境有害性 短期(急性):区分1  
水生環境有害性 長期(慢性):区分1

環境に対する有害性

ラベル要素  
絵表示又はシンボル



注意喚起語  
危険有害性情報

危険  
吸入すると生命に危険  
強い眼刺激  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
臓器の障害(呼吸器系/心血管系/腎臓/肝臓/中枢神経系)  
長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害(神経系/心血管系/血  
液/肝臓/歯肉)  
長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性  
【安全対策】  
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱いわないこと。  
煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
取扱後は手をよく洗うこと。  
この製品を使用する時に飲食/喫煙をしないこと。  
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
環境への放出を避けること。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
呼吸用保護具を着用すること。  
【応急措置】  
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ  
ること。直ちに医師に連絡すること。  
皮膚に付着した場合: 多量の水と石けんで洗うこと。  
皮膚刺激又は発疹ができた場合は医師の診断/手当てを受けること。  
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着  
用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合は医師の診断/手当てを受けること。  
暴露又は暴露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。  
気分が悪いときは医師の診断/手当てを受けること。  
環境への放出を避けること。  
漏出物を回収すること。  
【保管】  
容器を密閉し、涼しく換気の良いところで保管すること。  
施錠して保管すること。  
【廃棄】  
内容物、容器を国又は都道府県の規則に従って廃棄すること。

注意書き

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別  
化学名  
別名  
化学式  
化学物質を特定できる一般的な番号  
成分及び含有量  
官報公示整理番号(化審法、安衛法)  
その他

化学物質  
水銀  
-  
Hg  
CAS RN: 7439-97-6  
水銀100%(純度99.5%以上のもの・代表値100%)  
対象外  
HSコード: 2805.40

## 4. 応急措置

## 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。人工呼吸が必要なことがある。

直ちに医師に連絡すること。

## 皮膚に付着した場合

暴露の懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。

汚染された衣服を脱がせる。洗い流してから水と石鹸で皮膚を洗浄す

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

## 眼に入った場合

暴露の懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

暴露の懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。

## 飲み込んだ場合

暴露又は暴露の懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。

口をすすぐこと。

## 予測できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状

暴露の懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。

皮膚を刺激する。蒸気を吸入すると、肺臓炎を起こすことがある。中枢神経系、腎臓に影響を与えることがある。これらの影響は遅れて現われることがある。医学的な経過観察が必要である。

中枢神経系、腎臓に影響を与え、被刺激性、情緒不安定、振戦、精神障害、記憶障害、言語障害を生じることがある。影響が蓄積される危険性がある。動物試験では人で生殖・発生毒性を引き起こす可能性があることが示されている。

吸入：腹痛、咳、下痢、息切れ、嘔吐、発熱/体温上昇

皮膚：吸収される可能性あり。発赤

救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用すること。

## 応急処置をするものの保護

安静と医学的経過観察が必要。

## 医師に対する特別な注意事項

## 5. 火災時の措置

## 適切な消火剤

この製品自体は燃焼しない。周辺の火災時：適切な消火手段を用いる。

## 使ってはならない消火剤

棒状注水

## 特有の危険有害性

火災時に刺激性あるいは有毒なフュームやガスを放出する。

火災や爆発の危険性がある。

## 特有の消火方法

ドラム缶などを水を噴霧して冷却する。

消火作業は、風上から行う。

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火により生じる流出物を収容するための用意。

## 消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な自給式の呼吸器用保護具、眼や皮膚を保護する防護服(耐熱性)を着用する。

## 6. 漏出時の措置

## 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスク、自給式呼吸器付化学保護衣など)を着用する。

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。

必要に応じた換気を確保する。

## 環境に対する注意事項

漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

漏出物を回収すること。

水生生物に対して毒性が非常に強い。

魚類で生物濃縮が起こることがある。

大量の場合、危険区域から立ち退く。

専門家に相談する。

## 封じ込め及び浄化の方法及び機材

使用する時は換気を行う。

漏れた液やこぼれた液を密閉式の非金属性容器に出来る限り集める。

下水に流してはならない。

この物質を環境中に放出してはならない。

自給式呼吸器付化学保護衣。

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。

漏出物の上をむやみに歩かない。

火花を発生しない安全な用具を使用する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

## 技術的対策(局所排気、全体換気等)

『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

取扱後は手などをよく洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

作業衣を家に持ち帰ってはならない。

環境への放出を避けること。

保護手袋、保護衣(自給式呼吸器付化学保護衣)、保護眼鏡、保護面を着用すること。

|                   |                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                   |                                                                                                                                                                                        | 呼吸用保護具を着用すること。局所排気<br>作業環境管理を厳密に！<br>(妊娠中の)女性への暴露を避ける！<br>青少年、小児への暴露を避ける！<br>20℃で気化すると、空気が汚染されてきわめて急速に有害濃度に達することがある。<br>暴露の程度によっては、定期検診が必要である。<br>中毒濃度に達していても、臭気として感じないので注意すること。<br>『10. 安定性及び反応性』を参照。<br>この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。<br>取扱い後は手などをよく洗うこと。 |
| 接触回避<br>衛生対策      |                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 保管                | 安全な保管条件                                                                                                                                                                                | 換気の良い涼しい場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。<br>施錠して保管すること。<br>混触危険物質から離しておく。<br>食品や飼料から離しておく。<br>ガラス(外装に金属容器使用)                                                                                                                                                     |
| 容器包装材料            |                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 8. 暴露防止及び保護措置     |                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 許容濃度              |                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 管理濃度              |                                                                                                                                                                                        | 0.025mg/m <sup>3</sup>                                                                                                                                                                                                                                 |
| 日本産業衛生学会          |                                                                                                                                                                                        | 0.025mg/m <sup>3</sup> (蒸気)                                                                                                                                                                                                                            |
| ACGIH             |                                                                                                                                                                                        | TWA 0.025mg/m <sup>3</sup> Skin<br>STEL -                                                                                                                                                                                                              |
| 設備対策              |                                                                                                                                                                                        | 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。<br>取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。                                                                                                                                                                                    |
| 保護具               |                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 呼吸器の保護具           |                                                                                                                                                                                        | 呼吸用保護具を着用する。                                                                                                                                                                                                                                           |
| 手の保護具             |                                                                                                                                                                                        | 適切な保護手袋を着用すること。                                                                                                                                                                                                                                        |
| 目の保護具             |                                                                                                                                                                                        | 保護眼鏡やゴーグルを着用する。                                                                                                                                                                                                                                        |
| 皮膚及び身体の保護具        |                                                                                                                                                                                        | 適切な保護手袋、保護衣(自給式呼吸器付化学保護衣)、保護眼鏡、保護面、呼吸器用保護具を着用すること。                                                                                                                                                                                                     |
| 9. 物理的及び化学的性質     |                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 物理状態              | 液体                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 色                 | 銀色                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 臭い                | 無臭                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 融点/凝固点            | -38.87℃                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲     | 356.72℃                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 燃焼性               | 該当情報なし。                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 | 該当情報なし。                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 引火点               | 該当情報なし。                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 自然発火温度            | 該当情報なし。                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 分解温度              | 該当情報なし。                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| pH                | 該当情報なし。                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 動粘性率(粘度)          | 1.685mPa・s(0℃)、1.45mPa・s(40℃)                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 溶解度               | 0.06mg/cm <sup>3</sup> (25℃,水)<br>2.7mg/L(ペンタン)<br>LogP=0.62(exp)                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| n-オクタノール/水分分配係数   | 0.002mmHg(25℃)                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 蒸気圧               | 13.5956g/cm <sup>3</sup> (密度)                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 密度及び/又は相対密度       | 6.93(空気=1)                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 相対ガス密度            | 該当情報なし。                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 蒸発速度              |                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 10. 安定性及び反応性      |                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 反応性、化学的安定性        |                                                                                                                                                                                        | アンモニア、ハロゲンと激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。アルミニウム他多くの金属を侵し、アマルガムを生成する。<br>加熱すると、有毒なフュームを生じる。<br>アンモニア、ハロゲンと激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。<br>加熱、燃焼、混触危険物質との接触<br>アジ化物、アセチレン、アンモニア、金属ナトリウム<br>火災時に刺激性、腐食性又は有毒なヒュームやガスを放出する。<br>沸点近くで長時間加熱するとHgOを生成する。                       |
| 危険有害反応可能性         |                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 避けるべき条件           |                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 混触危険物質            |                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 危険有害な分解生成物        |                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 11. 有害性情報         |                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 急性毒性              | 経口 : データ不足のため分類できない。<br>経皮 : データ不足のため分類できない。<br>吸入 : ラットに0.027 mg/Lの濃度の水銀蒸気を2時間の暴露(4時間換算値: 0.019 mg/L)により32匹中20匹死亡との結果(CICAD 50 (2003))から、LC50値は0.019 mg/L/4h以下となる。、GHS分類: 区分1<br>(蒸気) |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性      |                                                                                                                                                                                        | データ不足。なお、ヒトへの影響としては、水銀の吸入、経口、あるいは経皮暴露による皮膚反応には、紅斑性および掻痒性発疹、大量の発汗および掌や足底の皮膚の紅潮や剥離があり、一般的に先端疼痛を伴ってみられると報告されている(CICAD(J) (2005))が、この記述からは皮膚との接触による直接的影響が判別できない。GHS分類: 分類できない                                                                              |
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 |                                                                                                                                                                                        | 高濃度の水銀蒸気への暴露により、眼の充血や灼熱感ならびに結膜炎が観察されている(CICAD(J) (2005)、ATSDR (1999))との報告がある。<br>GHS分類: 区分2                                                                                                                                                            |

|                |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|----------------|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性  | 呼吸器：<br>皮膚： | データ不足のため分類できない。<br>日本産業衛生学会により感作性物質として皮膚：第1群に分類されている（産衛誌53巻（2011））。なお、ヒトでは金属水銀に対するアレルギー性接触皮膚炎が報告されており、パッチテストで陽性反応を示した歯科医の症例、また、アマルガムを充填し口腔内扁平苔癬を有する患者29名において、対照群の3%に対し、62%が水銀に陽性反応を示したパッチテストの結果（IARC 58（1993））が報告されている。GHS分類：区分1<br>本物質自体について、実験動物や培養細胞を用いた試験のデータは見当たらない。しかし、ヒトでの疫学調査はいくつかの報告があり、金属水銀の職業暴露により、染色体の構造異常の発生増加はなかったが、異数性や無動原体断片の発生率の有意な増加が見られた（IARC 58（1993））こと、また、染色体への影響は認められなかった（IARC 58（1993））との陰性結果、さらに、体細胞での姉妹染色分体の発生率の増加が見られた（IARC 58（1993））ことなどが報告されている。しかし、不十分な方法、交絡因子が考慮されていない、あるいは水銀の尿中濃度（暴露濃度）と観察結果との間に用量反応関係が見られないなどの理由により、結果の有意性は限定的であり、水銀の遺伝毒性について結論的な評価はできない（DFGMAK-Doc 15（2001））と述べられている。GHS分類：分類できない                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 生殖細胞変異原性       |             | IARCの発がん性評価でグループ3（IARC 58（1993））、さらにACGIHではA4、EPAではDに分類されている。なお、動物試験の適切なデータはなく、ヒトでは米国、スウェーデン、オーストラリア、イタリア、カナダにおいてコホート研究やケース・コントロール研究による疫学調査が実施され、水銀の暴露により肺がんや脳腫瘍などのリスク増加を示す複数の報告（IARC 58（1993））がある一方、腫瘍の発生と暴露との関連はなかった（IARC 58（1993））とする相反する結果も報告されており、分類にはデータ不十分である。GHS分類：分類できない<br>ヒトで水銀蒸気の暴露による生殖への影響について複数の疫学調査の報告がある。職業的に暴露された女性歯科医師らを対象とした調査では、非暴露のコントロール群に比べて頭髪中の総水銀濃度は高く、自然流産、死産、先天異常（二分脊椎）等の異常もコントロールよりも多かった（産衛誌第40巻（1998））との報告、また、作業環境で水銀元素蒸気に暴露した女性349人を調べた研究で、215人の非暴露コントロールに比較し、妊娠合併症（中毒症、流産、遅延分娩、分娩時の大量出血）が多数みられた（CICAD（J）（2005））との報告など、水銀の暴露による女性の生殖に及ぼす悪影響が報告されている。なお、実験動物では、ラットに受胎前3週間および妊娠7～20日に2.5 mg/m3を吸入暴露により、非暴露の対照群と比べ出生後の生存仔数の著しい減少が報告され、仔の死亡は一部は母動物の授乳不能によるともされたが、死因は不明である（IRIS（2002））。GHS分類：区分1A<br>ヒトで高濃度水銀蒸気の急性暴露により、呼吸器系の障害（気管支・細気管支炎、間質性肺炎、呼吸困難）および尿細管障害などを認め、重篤な場合は呼吸不全や腎不全で死亡することもある（産衛誌第40巻（1998））との記述に加え、高濃度水銀蒸気の短期暴露の結果、タンパク尿、血尿、乏尿、さらに急性腎不全に至る一連の影響が近位尿管の変性または壊死を伴ってみられた（CICAD（J）（2005））との報告もあり、区分1（呼吸器系、腎臓）とした。また、ヒトで高濃度の金属水銀を急性吸入暴露後に心拍数と血圧の増加（ATSDR（1999））が報告され、一方、ウサギに0.0288 mg/m3の濃度を2～30 時間暴露（ガイダンス値区分1相当濃度）により、心組織の壊死を伴った著しい細胞変性がみられた（CICAD（J）（2003））との報告により、区分1（心血管系）とし、さらに金属水銀の蒸気暴露に対し中枢神経系がおそらく最も鋭敏な標的臓器である（CICAD 50（2003））と述べられ、ウサギに0.0288 mg/m3の濃度を2～30 時間暴露（ガイダンス値区分1相当濃度）し、脳に顕著な細胞変性と広範囲の壊死がみられた（CICAD（J）（2003））との報告により、区分1（中枢神経系）とした。一方、幼児が水銀蒸気の吸入で急性中毒に陥り、ALTや血清ビリルビンの上昇など肝細胞への影響がみられたとの報告に加え、男性1人が水銀蒸気への短期、高濃度暴露により死亡し、剖検で肝腫大および小葉中心性空胞化が認められた症例（CICAD（J）（2005））が報告されており、区分1（肝臓）とした。以上より、本項の分類としては区分1（呼吸器系、心血管系、腎臓、肝臓、中枢神経系）となる。<br>ヒトの慢性暴露で濃度が高い場合には、振戦や行動・性格の変化が認められ、口腔内にも歯痛などの自覚症状を始め、歯根炎や唾液分泌過剰が起きる（産衛誌第40巻（1998））。また、工場で一定年数働いていた労働者が職業暴露により、振戦、めまい、不安定歩行、鈍いメンタルレスポンス、歯肉炎、歯肉痛などの症状を示した（CICAD（J）（2005））こと、クロールアルカリ工場の作業員で神経伝導速度の異常、衰弱、感覚異常、筋けいれんなどの症状が報告されている（CICAD（J）（2005））。GHS分類：区分1（神経系、歯肉）また、家庭での水銀元素の漏出により、水銀蒸気に6ヵ月間暴露された12 歳の少女に白血球数の増加が観察され、また、家庭での水銀蒸気に暴露した別の事例では、家族4 人のうち2人に頻発する鼻血と血小板減少がみられた（CICAD（J）（2005））との報告がある。GHS分類：区分1（血液）<br>さらに、少なくとも5年間水銀蒸気の職業暴露された労働者での心悸亢進と僅かな心血管反射の低下、別の工場労働者では高血圧の頻度増加、虚血性、脳血管性障害による死亡の可能性の増大が報告されている（ATSDR（1999））。GHS分類：区分1（心血管系）一方、ウサギに12週間吸入暴露（0.86～6 mg/m3、暴露期間：7 hrs/day）により、肝臓で病理学的変化が中等度の変化から顕著な細胞変性に至るまでみられ、壊死が生じた（CICAD 50（2003））との結果に基づき、暴露濃度はガイダンス値区分1の範囲にある。GHS分類：区分1（肝臓）なお、腎臓については反復暴露による悪影響を示すデータは見出せず、標的臓器として採用しなかった。データ不足のため分類できない。 |
| 発がん性           |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 生殖毒性           |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 特定標的臓器毒性（単回暴露） |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 特定標的臓器毒性（反復暴露） |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 誤えん有害性         |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |

12. 環境影響情報

生態毒性

|             |                                                                      |
|-------------|----------------------------------------------------------------------|
| 短期：<br>（急性） | 甲殻類（ブラインシュリンプ）の96時間LC50 =0.006 mg/L（AQUIRE, 2011）から、区分1とした。GHS分類：区分1 |
|-------------|----------------------------------------------------------------------|

|                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 長期:<br>(慢性)                               | 慢性毒性データを用いた場合、金属であり水中での挙動が不明であり、藻類(Pseudokirchneriella subcapitata)の72時間EC10 = 0.001 mg/L (AQUIRE, 2012)であることから、区分1となる。慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、金属であり水中での挙動が不明であり、甲殻類(ブラインシュリンプ)の96時間LC50 = 0.006 mg/L (AQUIRE, 2012)であることから、区分1となる。以上の結果から、区分1とした。GHS分類: 区分1                                                                                  |
| 残留性・分解性                                   | 該当情報なし。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 生体蓄積性                                     | 該当情報なし。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 土壌中の移動性                                   | 該当情報なし。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| オゾン層への有害性                                 | 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。(分類できない)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 13. 廃棄上の注意                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報 | 産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 14. 輸送上の注意                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 国連番号                                      | 2809                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 品名(国連輸送名)                                 | 水銀                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 国連分類                                      | クラス8(副次6.1)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 容器等級                                      | Ⅲ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 海洋汚染物質                                    | 該当                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策                       | 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 国内規制がある場合の規制情報                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 陸上輸送                                      | 消防法の規定に従う。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 海上輸送                                      | 船舶安全法の規定に従う。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 航空輸送                                      | 航空法の規定に従う。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 応急措置指針番号                                  | 172                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 15. 適用法令                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 化学物質管理促進法(PRTR法)                          | 第1種指定化学物質(第2条・施行令第1条別表第1)〔水銀及びその化合物〕                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 毒物及び劇物取締法                                 | 毒物(第2条別表第1)〔水銀〕                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 労働安全衛生法                                   | 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(第57条及び施行令18条、第57条の2及び施行令18条の2)〔水銀及びその無機化合物〕<br>危険性又は有害性を調査すべき物〔水銀及びその無機化合物〕<br>特定化学物質第2類物質・管理第2類物質(施行令別表3の2及び特化則第2条)〔水銀及びその無機化合物〕<br>作業環境評価基準(第65条の2第1項及び告示別表)〔水銀及びその無機化合物〕<br>貯蔵・取扱いの届出物質(第9条の3 政令別表1)〔水銀〕<br>特定有害物質(施行令第1条)〔水銀及びその化合物〕<br>有害物質(施行令第2条)〔水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物〕<br>腐食性物質(危規則第3条危険物別表第1)<br>腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1) |
| 消防法                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 土壌汚染対策法                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 水質汚濁防止法                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 船舶安全法                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 航空法                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 16. その他の情報                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 参考文献                                      | NITE－CHIRP(製品評価技術基盤機構HP)<br>16615の化学商品(化学工業日報社)<br>職場のあんぜんサイト(厚労省HP)<br><br>記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。                                                                                                                                                         |